

折に触れ 四字熟語

NO. 107 〔鶏群一鶴〕 けいぐんのいっかく

< 意味 > 多くの凡人の中に、一人だけすぐれた人物が混じっていることのとえ。多くの鶏の群れの中にいる一羽のつるの意から。

< 出典 > 「晋書」^{しんじょ} 嵇紹^{けいしょうでん}伝

用 例：神謀鬼策の一端を披露に及んで、鶏群の一鶴、忠実無私の番頭ぶり、頼まれもせぬ米をついで大汗を流している。<坂口安吾・二流の人>

一 言：「イチロー引退」のニュースで鈴木一郎の「一」が付く熟語を探していてこれが思い当たりました。一握りの選ばれた日米のプロ野球選手を鶏群というのは当たりませんのでイチローをこの四字熟語で形容するのは適切ではないと思いますが、彼のバッターボックスに入ったときのポーズや一本足打法を見て、私はまさに「一鶴」を連想してしまいます。

参照文献：三省堂「四字熟語辞典」